安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : 内因性ペルオキシダーゼ ブロック
製品番号 : ACA015, ACA125, ACA500, ACA999 （メーカー略号: SCY）
構成品名 : 内因性ペルオキシダーゼ ブロック
会 社 名 : コスモ・バイオ株式会社
住　　所 : 東京都江東区東陽二丁目２番２０号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610　FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（吸入）:区分 4
皮膚腐食性/刺激性:区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 1
発がん性 : 区分 2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）:区分 2（呼吸器）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）:区分 2（呼吸器）

環境有害性

水生環境有害性　短期（急性）:区分 2

GHSラベル要素

注意喚起語:危険

危険有害性情報

吸入すると有害
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
発がんのおそれの疑い
臓器の障害のおそれ（呼吸器）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器）
水生生物に毒性

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
環境への放出を避けること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

直ちに医師に連絡すること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

廃棄
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	官報公示整理番号
過酸化水素	3	7722-84-1	1-419

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分
安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分　過酸化水素

4. 応急措置

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚を多量の水で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合
水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。医療者の指示なく吐かせない。意識のない者には何も口から与えてはならない。
医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護
救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。
適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項
腐食性/刺激性製品。触れた物質を完全に洗い流す必要がある。
医師に暴露物質名、毒性・発がん性を有する製品であること、防護のための注意を通知する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤
棒状放水

特有の危険有害性
火災によって刺激性、毒性または腐食性のガスを発生するおそれがある。
加熱すると容器が爆発するおそれがある。
消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法
消火水の下水への流入を防ぐ。

霧状水により容器を冷却する。
消火を行う者の保護
消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
区域より退避させる。
回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。
環境に対する注意事項
環境中に放出してはならない。下水、排水中に流してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
可燃性物質(紙、おがくず等)に吸収させてはならない。汚染箇所は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
(取扱者のばく露防止)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
皮膚や眼との接触を避けること。
安全取扱注意事項
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避
「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
(製品が付着した衣類は放置せず、すぐに洗い流すか水に浸漬する。)
保管
安全な保管条件
涼しく換気のよい場所に保管すること。4℃で保存すること。異物混入を防止すること。
可燃性物質、金属から離して保管する。
安全な容器包装材料
本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : データなし
許容濃度
(過酸化水素)
ACGIH(1996) TWA: 1ppm (眼, 上気道及び皮膚刺激)
ばく露防止
設備対策
洗眼設備・安全シャワーを設けること。
保護具
呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 無色
臭い : 無臭
沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
可燃性(ガス、液体及び固体) : データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : データなし
動粘性率 : データなし
蒸気圧 : データなし
密度/相対密度 : データなし
相対ガス密度(空気=1) : データなし
粒子特性 : 該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性
データなし
化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
加温や光の影響により分解し、酸素を生じて火災の危険性を増大させる。
避けるべき条件
直射日光、熱
混触危険物質
強酸化性物質、還元性物質、金属、可燃性物質
危険有害な分解生成物
加熱により支燃性ガス(酸素)が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性
急性毒性(経口)
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
rat LD50=805mg/kg (DFGOT vol.26, 2011)
急性毒性(経皮)
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
rabbit LD50=690mg/kg (DFGOT vol.26, 2011)
急性毒性(吸入)
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)

mist: mouse LC50=0.46-1.00mg/L/4hr (DFGOT vol.26, 2011)
vapor: rat LC50=1438ppmV/4hr (DFGOT vol.26, 2011)
労働基準法:疾病化学物質
過酸化水素
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
ラビット 腐食性 (EU-RAR, 2003 et al)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
動物 腐食性 (EU-RAR, 2003)
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
cat.2; ACGIH A3 (ACGIH 7th, 2001)
[IARC]
(過酸化水素)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]
(過酸化水素)
A3(1996) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
催奇形性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
呼吸器 (ACGIH, 2001; EU-RAR, 2003)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
呼吸器 (EU-RAR, 2003)
誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
水生生物に毒性
水生環境有害性 短期(急性)
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
藻類 (ニッチア) EC50=0.85mg/L/72hr (EU-RAR, 2003)
水溶解度
(過酸化水素)
混和する (ICSC, 2000)
残留性・分解性
(過酸化水素)
急速分解性あり (EU-RAR, 2003)

生体蓄積性
(過酸化水素)
log Pow=−1.36 (ICSC, 2000)
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
製品が付着した可燃物(ペーパータオル等)は水で洗い流してから廃棄すること。
汚染容器及び包装
製品入り容器と同様に処分する。
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 : 非該当

注意事項　輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法
名称等を表示すべき危険/有害物　過酸化水素(別表第9の126)
名称等を通知すべき危険/有害物　過酸化水素(別表第9の126)
化学物質管理促進(PRTR)法 : 非該当
消防法 : 非該当
化審法
優先評価化学物質　過酸化水素(政令番号89　生態影響)
水質汚濁防止法
指定物質　過酸化水素　法令番号　4

16. その他の情報

参考文献
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は

当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。